

<タイプ1>

- ・東京駅で暗殺事件がおこっていたことを初めて知った。
- ・瀬川棋士の「努力は人を裏切らないが『長い目で見る』という意味が含まれている」という発言から、今自分が取り組んでいることを甘く見ず、上手いかなくても努力が足りないという意識をしてみたくなった。木村棋士の「今自分の打つ手が酷くても、止めればそれで全てが終わってしまう」という発言から、自分も失敗が多いし、これからも起きるだろうが、どのみち続けるしかないと思った。
- ・志というものは貫き通すことが大事だと分かった。
- ・偉人の方々の言葉を聞いて、鳥肌が立つほど心に突き刺さった。
- ・色々な方の名言を見て、感動を覚え、心に響いた。
- ・「前に勧めない駒なんてない」印象に残った。

<タイプ2>

- ・志を持つことはとても大切だと感じた。将棋の人の話はとても尊敬できる言葉ばかり。「努力は裏切らない」全くその通りだと感じた。
- ・池波さん「死ぬのはすぐその時がくる」という言葉に印象を受けた。将棋では努力は人を裏切らない、など、勉強になった。
- ・市川さんの戦う姿はとてもカッコいいと思った。「平和なくして平等なく、平等なくして平和なし」とも響いた。
- ・インドが発祥地である将棋は、東や西によってチェスだったり囲碁だったりというのは知らなかった。東京駅の動画は印象強かった。
- ・「少なくして学べば即ち壮にして為すことあり、壮にして学べば即ち老いて衰えず、老いて学べば即ち死して朽ちず」という言葉が印象的で言志四録を読んでみたくなった。
- ・市川さんは男女の差別の撤廃を言い続けていた。
- ・「短い言葉でしっかりと伝える」ことの重要性を感じた。
- ・藤沢周平「一人の平凡な人間もドラマを持っている。こういう人に興味を引かれる」「物を増やさず、むしろ少しずつ減らしながら生きている痕跡をだんだん消しながら、やがてふと消えるように生涯を終えることができたなら、幸せだろうと時々夢想する」印象に残った。
- ・池波正太郎の「努力は裏切らない」の裏に「長い目で見ると」という言葉が隠されているのはその通りだと思った。東京駅での暗殺の件は驚いた。
- ・池波正太郎の、年賀状を毎年自筆で1000枚描くことは大変なことだと思う。

<タイプ3>

- ・私たちが「志」という目標を持ち大学で学んでいますが、目標に向かい努力することが大切だと感じた。普段生活していて気が付かない東京駅に歴史を思い出させるものがあることに驚いた。市川さんのように「志」を再確認してみたいと思った。
- ・東京駅に過去の暗殺事件が記され残されていることに驚いた。池波正太郎の「日本人は一杯の味噌汁でありたいと思えるようにできている」という言葉はその通りだと思った。志を貫いている人はすごい。
- ・自由学園がまるで教会のようでした。羽仁もと子さんの記念館はとても歴史が詰まったものだと感じた。一筋の志を持って生きたと感じた。

<タイプ4>

- ・貿易収支の赤字転落を原発問題に起因するエネルギー輸入の問題だけとするのは少々無理があると思う。震災以前からの貿易収支の悪化が続いていた。一度赤字化した収支を黒字にするのは困難。税金の適正配分と企業の努力しかないと思う。そのためには若いビジネスリーダーが必要。過去の偉人から学ぶ事は多いだろう。講義で取り上げた人物が現代～未来のためにどんな影響を与えるのだろうか。残り10回の講義で、そういった人物を見つけたい。
- ・自分は不器用で人よりも何事も時間がかかる。羽仁もと子さんの楽を選ばない姿勢、ストイックな一面がとても参考になった。

<タイプ?>

- ・名言集はどれも深かった。東京駅に様々な歴史のあとが残っていることにびっくりした。
- ・「経験はプラスにもなるし、マイナスにもなる」その通りだと思った。
- ・人間生まれてから死に向かって生きるという池波正太郎の言葉は深いと思った。佐藤一斎の「生はこれ死の始め...」の言葉も深かった。市川房枝さんのような人が今の日本には必要だと思った。
- ・「自分の一生をどう使うかを考えるということは、他の人の人生を考えるのと同じだ。」たくさんの人に支えられていることだと思った。志を持って生きて行くことの大切さを改めて感じた。「春風...」自分には厳しくしていこうと思う。
- ・牧野富太郎さんのお話は聞いたことがあった。

<タイプ5>

- ・瀬川さんと「努力」は人を裏切らないという言葉に感動した。その努力には時間がかかる。原敬さんは「はらたかし」と読むと思います。
- ・短い言葉で見ている人を魅了させるのは、すばらしいことだと思う。「持続する志」の人物の動画は圧倒されるものばかりだった。市川さんが印象に残った。
- ・今回の人物たちの学歴に驚いた。小学校を中退し独学で、現代では考えられない。私も少しでも折れない心を持って大学生活を送りたい。
- ・将棋の棋士の方々の名言を聞いた。「物事を決める人は必ず得をしてはいけぬ。むしろ損をしなければならぬ」真のリーダー像とはこういう事なのかもしれない。市川房枝さんの意志を貫く姿勢は魅力的だった。
- ・宮城まり子さんのねむの木こども美術館について読むと、すごく豊かなユーモラスな考え方が伝わってきて、献身や愛に生きる人が多くなると思った。
- ・市川さんの、脅しに屈することなく力に変えることのできる強さに憧れた。
- ・市川房枝さんの「平和なくして平等なく、平等なくして平和なし」という言葉はすごく良いと思った。
- ・牧野富太郎は小学校を1年で辞めているのに、独学で、世界的学者になったことに驚いた。大山康晴将棋記念館を訪問したいと思った。
- ・牧野富太郎のように、小学生の学歴もないのに大学の講師になったので、人がやってできないことはないと考えさせられました。
- ・池波正太郎さんの天ぷらのお話を聞いて良かった。葉室麟さんは、読んでみたい。特に、高杉晋作の一生を書いた春風伝。この講義は、改めて自分にぴったりだと再認識できました。私自身歴史が好きです。
- ・声の魔力はすごい力があると感じた。
- ・羽仁もと子。生涯を教育と出版に捧げる。普通じゃできない。家計簿は自身の暮らしからのヒント。
- ・志を持ち自分の道をまっすぐに進む姿勢に日本人の美德を感じた。若いうちに学問を学び出来るだけ自分の力として蓄えておきたい。私たちが負けずに未来を切り拓いていきたいと思う。
- ・市川さんの演説に私と同じ世代の人たちが耳を傾けていた。池波正太郎の作風にとっても興味がある。

<タイプ6>

- ・牧野富太郎さんのように、自分の好きなことを本気でやりたいと思ったら、普通のことをやらないのも一つの手だなと思った。
- ・若いうちに自分の信念を見つけたい。
- ・牧野富太郎さんの人生と言動が印象に残った。
- ・市川房枝さんの行動を知ってもらい、理不尽に合っている人たちに、少しでも動いて欲しいと感じた。
- ・日本で一番の政治家と言われた原敬について、なぜそう言われたのか興味が湧いた。
- ・起業家の名言を聞きたい。
- ・動画の人たちは常に立ち向かっていた。
- ・専門分野をとことん追求した人々だった。
- ・「年齢」ではなく「情熱」を持って何事にも接していけばよいという名言に感動した。
- ・佐藤一斎の名言が良かった。「生はこれ死の始め、死はこれ生の終り。生ぜざれば即ち死せず、死せざれば即ち生せず」死がなければ生自体が存在しない。という言葉に魅力を感じた。

<タイプ7>

- ・「兄達は頭が悪いので東大に行った。私は頭が良いので将棋士になった」驚いた。
- ・宮城まり子さんの「この人はエニアグラムのタイプ2だろうな」が印象的。自分で調べた言葉、升田幸三さん「一人前になるには五十年はかかるんだ。功を焦るな。悲観するな。もっと根を深く張るんだ。根を深く掘れ。」塚田正夫さん「悪い時にどれだけ頑張れるかでその人間の値打ちは決まる」、米長邦雄さんの「兄達は頭が悪いから東大へ行った。自分は頭が良いから将棋指しになった。」が面白かった。女性の名言も見たい。
- ・生涯を通して一つのことをやり通すことが印象的だった。自分もやりたいことを決め、やり通したい。
- ・損をしなければならぬ。誰もが才能を持っているわけではない。春風のようにあたたかい人になりたい。市川さんの行動が心にグツときた。カッコいい女性になりたいと思った。
- ・偉人はすごい。自分にはまだ何もないと感じた。
- ・持続する志を持たなければ。今回の人物たちは立派。
- ・東京駅が暗殺の名所だと知った。有名な人の生き様は素晴らしいと思う。

<タイプ8>

- ・大山康晴さんは、29歳で名人になれすごい。私も若いうちに目立つことをしたい。
- ・牧野富太郎の植物の精密画がとてもすご良かった。毛筆で描いていることで鋭い観察眼だと思った。見てみたいと興味が湧いた。
- ・昔から続いているものがある人は強い。
- ・言葉の持つ力がすごい。良い上司または先生に会いたいと思った。
- ・藤沢周平さんの展示会に以前行ったことがある。彼の人生をのぞきたいと思った。
- ・牧野富太郎は、小学校1年生で中退し、東大の講師まで登りつめたのはすごい。
- ・過去の動画は、面白いことであると同時に怖いことでもある。
- ・佐藤一斎の言志四録、面白かった。「少壮老死」やはり勉強しなければいけないと思った。家計簿は、財務省などが作ったのだと思っていた。
- ・宮城まり子が心血を注いだ「ねむの木こども美術館」に行ってみたい。
- ・脅迫状にも負けず、周りの人に困惑されても自分の信じたことを続けられたのは凄い。

<タイプ9>

- ・自分は不器用だからというコンプレックスを補うために、家計簿を作ったのはすごい。
- ・池波正太郎の「人は生まれてから死に向かって生き続ける」に興味を持った。人生を楽しく生きるをテーマにしている偉人の言葉を聞きたい。
- ・「最大の敵は味方の駒」印象に残った。日常生活でも使える言葉だと感じた。
- ・人より少ない苦労して人より多くの利益を得ようとするのは薄志弱行の者のすることだという言葉は響いた。靴屋は靴以外のものを作らないという言葉は、ほかのものには手を出さずに、一つのことを追求する志はすごいと思った。
- ・佐藤一斎さんの、「春風...」他人には優しく自分には厳しくという素晴らしい心の持ち方を私もしたい。
- ・原敬は日本で最も才能のある政治家だったと思う。
- ・牧野富太郎は1500点以上の植物に学名をつけたことが衝撃的だった。

<タイプ?>

- ・佐藤一斎「春風のようにさわやかに温かく他人に接し、自分には秋の霜のように厳しく慎みの心を持つ」中国にも似ている言葉がある。
- ・池波正太郎さん「死ぬのはすぐその時が来る」印象に残った。「努力は裏切らない」「長い目で見ないといけない」「一言を付け加えることが大切」その通りだと思った。
- ・池波正太郎さん「人間は死ぬという事実こそが自分を磨くための磨き砂だ」彼のような生き方はすばらしい。無駄な時間を作らない点は共感できた。「青春忘れもの」を読んでもみたい。
- ・棋士たちの言葉が良かった。
- ・棋士の名言一つ一つに深い重みを感じた。
- ・成功した棋士たちの、凄い人生観を感じられた。
- ・「人が真似できない芸を持つことが一流の条件である」この言葉が印象に残った。
- ・市川房枝さんが印象に残った。
- ・村野四郎。近くに住んでいるのに知らないことも多く、新しい情報を得ることができた。改めて府中市郷土の森はすばらしいところだと思った。
- ・池波正太郎「人間は生まれた瞬間から死に向かって生きている。～」聞いたことがあったが改めて名言だと思った。丸太裕「物事を決める時は、決めた人間が得をしないこと」。谷川浩司「落とし穴がある。経験はプラスにもなるがマイナスになることもある」その通り。佐藤一斎「言志四録」「春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら肅む」という名言は、その通りだと思った。
- ・自分が何かに挑戦しようとした時今日の講義を思い出したいとおもった。
- ・村野四郎の経歴の内容が素晴らしい。
- ・棋士の言葉に重みを感じた。前進しない駒は無い。努力は報われるの裏に隠された言葉など、感じるものが多くあった。
- ・志を本当に実現させる人に私もなりたい。
- ・様々な業界に通ずる人たちの名言を知りたい。原敬の日記を続ける継続力に感服した。
- ・佐藤一斎「一燈を提げて暗夜を行く...」が印象に残った。自分を偽らずに自分の「一燈」を以て人生を生きていきたいと考えた。
- ・宮城まり子さんのねむの木こども美術館は、ユニークで真白なまばゆい空間を連想する話でした。